

広報 ぬまた

8月号

2013.8.8 No.571

ほたと夜高が共演！ほたる祭りも大盛況！！



今月の主な内容

★特集

- 沼田町の医療・福祉の今後を考える・・・2
- ★まちのニュース・・・7
- ★ふれあい I N F O・・・11
- ★沼田消防から（消報）・・・12
- ★沼田警察署から・・・13
- ★生涯学習ゆめっくる・・・14
- ★図書館から・・・15

7月13日（土）ほたる祭りオープニングの夜高太鼓演奏

町の公式ホームページにおいて、まちのニュースが随時更新されており、いち早くご覧になれます！

また、フェイスブックの公式ページも公開されていますので、町ホームページにある右記のボタンをクリックしてご覧ください。



特集

沼田町の医療・福祉体制の 今後を考える



沼田町では、今ある厚生病院の現状と課題、また、将来に向かつての医療体制と福祉施設などについて考える「沼田町の医療・福祉体制の今後を考える町民懇談会」を、5月26日から7月10日の期間、町内11会場で行いました。

まちづくりを進めるうえで、医療と福祉は、欠かせない問題です。

今回の広報ぬまたでは、説明会で説明させていたいただいた内容を元に要所をまとめましたのでご覧ください。さらに詳しい説明をお聞きになりたい町民の方は、役場政策推進室（35-2155）までお問い合わせください。

各会場参加者数					
5月26日	ゆめっくる	40人	6月22日	高穂	15人
5月28日	ゆめっくる	25人	6月24日	共成	15人
6月10日	共成老人クラブ	25人	6月25日	ゆめっくる	23人
6月11日	沼田長生クラブ	40人	7月10日	J A女性部	13人
6月13日	恵比島	17人	合計 (平均)		246人 (22.4)人
6月15日	北竜	15人			
6月17日	J A青年部	18人			

◇ まず最初に沼田町の人口予測です

今年の3月に、国立社会保障・人口問題研究所で発表された、将来の沼田町の人口と高齢化率は、今年の3月末の人口に対して、18年後の平成42年には、人口が、現在よりも31.4%減って2385人になり、人数で1090人が減少すると予測されています。

一方、高齢化率も今よりも10%も上がり、47.2%となり、近い将来、町民の2人に1人が、65歳以上の高齢者となると予測されています。

■沼田町の人口予測

平成 25. 3. 31 現在 3,475 人
 平成 42 年 (18 年後) 2,385 人
 31.4% 減
 高齢化率 37.4% → 47.2%
 町民の 2 人に 1 人が高齢者

◇ 沼田厚生病院の現状と課題です

現在の沼田厚生病院の建物は、昭和39年11月に建築され、築48年が経過しており、構造的に耐用年数は39年となっていることから、この建物のまま、使い続けることは難しく、早急に新しい施設への整備が必要な状況です。

沼田厚生病院は、北海道厚生連の傘下として、平成17年度まで、厚生病院独自で運営がなされておりましたが、国の診療報酬等の改定により、平成18年度から大幅な赤字経営となってしまう、厚生病院を所在する自治体

■施設

- 昭和39年建設・築48年経過
- 早急に新施設の整備が必要

■経営状況

- 平成17年度まで独自運営
- 平成18年度から大幅な赤字
- 平成19年度から町が全額赤字補填

が赤字額を全額補填しなければ、病院を存続させることが難しいとの厚生連から強い要請があり、平成19年度に、厚生病院を所在する自治体と厚生連との間に、「赤字が出た場合、地元のまちが全額補てんをする。」という「協定」に止む無く、同意をいたしました。

また、沼田厚生病院の問題としては、医師・看護師の退職などがありましたが、満度に補充することができませんでした。

また、人口減による患者数の減少も深刻で、年々外来患者数、入院患者数とも減少の一途をたどっており、赤字額を増やす大きな要因でもありました。そんなこともあり、平成24年度の赤字補填額は、過去最高額の2億円を超えることとなりました。

◇ 現状のまま厚生病院を維持する場合です

沼田厚生病院を20床以上のベッドを持つ病院のまま維持するとしたときの課題としては、主に次の3点です。

①患者数が激減して収入が減ってきていること。特に、入院患者数は、10年前に比べ、70%も減っています。

②赤字補填額の増加です。平成18年度からの累計赤字額は、7年間で、11億4千万円を超えており、この金額を町は全額補填してきました。このまま、「病院」として維持するとなれば、今後、毎年2億円を超える赤字を補填していかなくてはなりません。

③病院を建設する費用が莫大であるということ。入院ベッドを持った病院を建設するとなれば、医療機器の整備も含め、約20億円以上の費用が必要であると思われます。

■沼田厚生病院を維持する場合

(課題1) 患者数の激減による収入の減 (H14/H24 対比)

- ・外来患者数 137人 → 89人 (▲35%)
- ・入院数 53人 → 16人 (▲70%)

(課題2) 赤字補填額の増加

- ・H18年度から累計11億4000万円を負担

(課題3) 病院建設費用の確保

- ・現状規模の病院建設費用 20億円以上 が必要

◆ 厚生連の見解です

様々な問題点や将来像について厚生連と打ち合わせをしてみました。厚生連の見解は、

①人口の減少・高齢化が進む中で、町民の健康を守る体制としては、医療と福祉の一体運営が望ましいと考えていること。
②人口減少・高齢化により患者数が減少する中で、病院運営において、沼田町が赤字額を全額補填するとしても、毎年2億円を超える赤字を出して運営することは、厚生連としても責任を感じていない。

③有床診療所は、「公的医療機関」としては、急性期の病院との「つなぎ」という位置付けでとらえていること。

一方、医師や看護師の体制は、病院も有床診療所も変わらないので、人件費や運営費も含め、効率が悪く、赤字額が増大すると考えられていること。

このことから、将来的には、医療と福祉の「一体運営」を基本に考え、

地域における「福祉施設」との連携を強化すべきということがあります。

また、後方ベッド（厚生病院に代わる病院のベッド）を確保したうえで、「厚生連」としては、「無床の診療所」とすることが望ましいという見解でありました。



昭和42年頃の沼田厚生病院

◆ 沼田町は、病院をどうするか

■ 沼田町が守るべき医療体制

- 医療機関を残す
- 医師確保を最も最優先に考える
 - ・他の市町村立病院を持っている自治体においても、医師確保が最重要課題。
 - ・沼田町が厚生連から離れて独自に医師確保を行った場合、無医村となる可能性が大きい。

住民の方の中には、沼田町が、厚生連から離れて、まち独自で医師確保は出来ないのかという方もおられると思います。が、厚生連では、数年前から本部に、「医師確保対策室」を設け、専門のスタッフを配置し、道内の医大の医局のみならず、道外医局にも出向いて医師確保に努力しています。結果は非常に厳しいと聞いております。

結論として

- 厚生連に医師確保や運営をお願いする方法を選択
- 『無床の診療所』を公設民営により早期に建設し、医療体制を確保
- 医療・介護・福祉の施設整備と他の医療機関との連携を充実させた各種事業の推進を図る事により、町民の不安を解消することに最大限の努力をする。

厚生連は、6つの総合病院と10個の一般病院・クリニックを抱えています。平成24年9月時点で、厚生連の病院等が不足している医師の数は41名で、そのうち沼田町も1名不足となっております。看護師については、122名不足しています。過去から医局との太いパイプを持つ厚生連であっても苦戦しているのが実態で、市町村立の病院を持っている自治体では、首長も議長も年中、医者を探しに全国を飛び回っているそうです。沼田町が厚生連から離れて独自に医師を確保するということは、沼田町が無医村となる可能性が高くなるということを意味しております。

そこで、沼田町は、町民の皆さんが 安心できる体制と施設整備を検討します！！

5 地域交流センター

- ◆住民が気軽に集まれる場所として「地域交流センター」を開設。
- ◆幼児から高齢者の方々まで世代間の交流ができるような施設。

例えば

- ・配食サービス
- ・健康アップトレーニングルーム
- ・趣味活動も楽しめる団らん空間 など

6 老人デイサービスセンター (移設)

- ◆旭寿園のデイサービスセンターの新築移転。
- ◆在宅の要介護者を送迎。
- ◆入浴、排せつ、食事等の介護。
- ◆生活についての相談、助言。
- ◆健康状態の確認
等の日常のお世話と機能訓練を提供します。

7 町外の病院までの交通費 一部助成

町外の病院に入院した家族への付き添いなど、車の運転ができない家族の方への助成制度の検討。

今後のスケジュール（想定）

- 平成 25 年度～基本構想 策定
- 平成 26 年度～基本設計・実施設計 策定
- 平成 27 年度以降順次建設・開設
 - ・町立無床診療所
 - ・小規模多機能型居宅介護施設
 - ・地域交流センター
 - ・老人デイサービスセンター
 - ・高齢者生活支援ハウス

1 沼田厚生診療所の建設

- ◆入院施設はありませんが、医師を 2 名程度配置。
- ◆今まで沼田厚生病院で行っていた診療と検査もある程度できる体制の検討。
- ◆運営については、厚生連への指定管理としたい。

2 調剤薬局

- ◆診療所近くに調剤薬局を民間が建設。
- ◆診療所で処方箋を発行し、お薬の調剤やお渡しは、調剤薬局で行う院外処方になります。
- ◆薬剤師による指導が受けられます。

3 小規模多機能型居宅介護施設

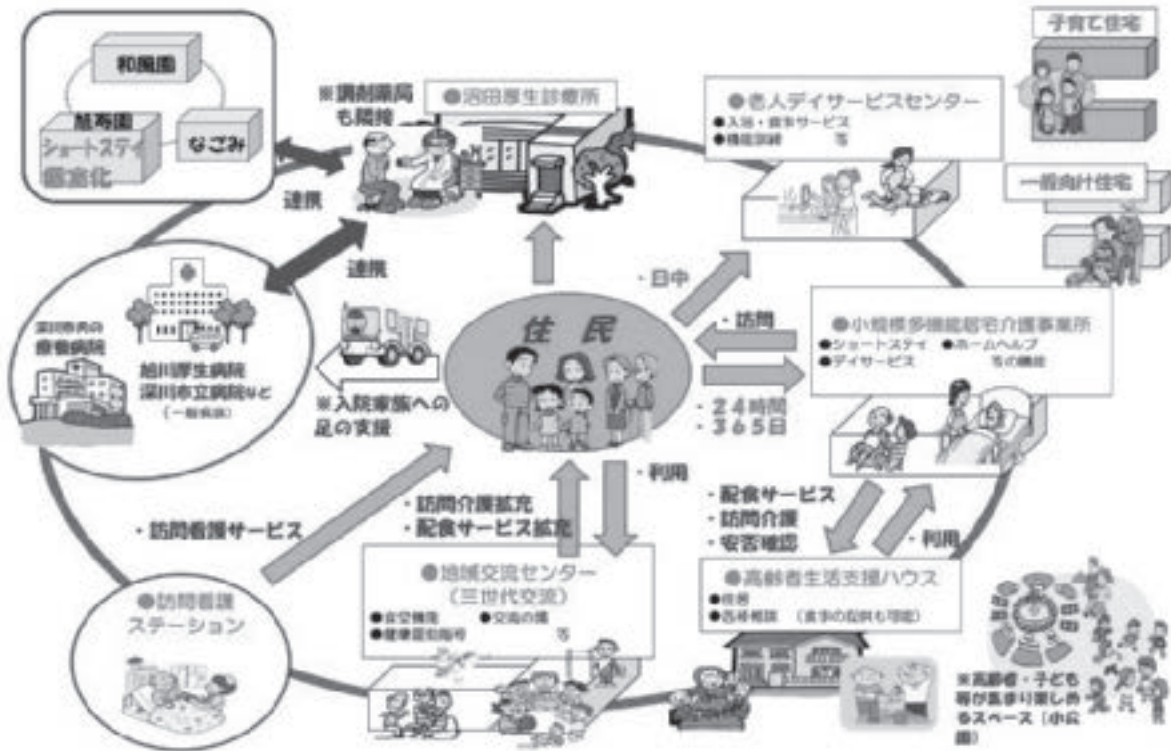
- ◆一般住宅のような小規模施設で登録者は「25 名程度」
- ◆施設に行き介護を受ける「通い」
- ◆自宅に来てもらい介護を受ける「訪問」
- ◆事業所に短期間泊まる「宿泊」
上記のサービスを「登録された方」には、24 時間 365 日必要であれば受けられます。

※イメージとしては、小規模なデイサービスセンターとヘルパー派遣の訪問介護及びショートステイ機能を併せ持った施設です。

4 高齢者生活支援ハウス (仮称)

- ◆診療所と小規模多機能型居宅介護施設に併設。
- ◆収入に応じた家賃設定で入居が可能。
- ◆自炊が基本ですが、食事の提供も検討します。
- ◆安否確認と各種介護サービスが受けられます。
- ◆おおむね 60 歳以上の単身及び夫婦世帯の高齢者で「車を所有していない方」の内、独立して生活することに不安を持たれている方に対して住まいを提供。

沼田町の医療・福祉体制のイメージ



ここまで住民説明会で説明をした内容を記載してきました。

町では、この説明のとおりに進めていくことで、具体的検討作業に入っていきます。

今後は、各施設の具体的な事業費などをつめていくため、今年度「基本構想」に着手し、平成26年度以降「設計業務」を行い、平成27年度以降、建設可能となった施設から「着手し、随時開設したい」と考えております。

これらの取り組みによって、「将来にわたって安心して沼田町で暮らしていける」環境整備を進めていきたいと考えています。

また、これら医療福祉の問題と共に「子育て住宅」や「一般向け住宅」も含めて、今後、具体的な計画案を検討していきますので、町民皆様のご意見をお聞かせください。

説明会での主な質問と答えは、次のとおりです。

Q 診療所となって現在と変わる点は何か？

A 診療科目はまだ決まっていないが、現在実施している検査もある程度出来る様、要請していくがこれもまだ決まっていない。これら総合的な規模により、医師、看護師の人数が決まってくる。

Q 救急指定病院から外れることで、救急車も無くなるのか？

A 現在、深川地区消防組合で深川市に2台、沼田町に1台救急車があり、この体制は変わらない。

Q 救急指定病院から外れることで、深川市までの移動距離が不安。

A 現状でも一度沼田厚生病院に運ばれるが、対応できない場合は町外の病院に再搬送されることから、あまり変わらないと考えられる。

Q 診療所について入院設備がなくなるだけで、レントゲン等今の病院

と同じことが出来ると考えて良いか？

A 確定では無いが、最低限の検査に必要な設備は残したいと考えている。

Q 土地、建物を整備することでの、財政的な問題は大丈夫か？

A 財政的な問題は懸念をしているが、試算はしていない。国の補助金を上手く活用して実施をしていく。現在、町がやろうとしている事業に対応した制度の改正、創設についても国へ要請していくことを考えている。

Q 沼田に病院を建てる必要があるのか？

A 最低限の医療は町に必要。無医村にはしたくない。この計画は思いつきで提案しているのではなく、1年かけて検討してきた結果である。

まちのニュース

Numatatown News

まちのニュースは、沼田町公式ホームページからでもご覧になれます。Facebook ページもありますので、そちらもご利用下さい。

スピード出しすぎ注意 交通安全啓発運動

夏の行楽期を迎え、沼田町交通安全協会役員や長生クラブの会員等が7月6日（土）、ほろしん温泉ほたる館前で交通安全の啓発運動を行いました。

沼田町では、昨年7月に町内の道道でバイクによる単独死亡事故が発生し、その事故の時の危機意識を風化させないよう今回の啓発運動を行いました。

参加した人達は、交通安全の襷をかけてスピードダウンの旗を持ち、通過する車両に安全運転をよびかけました。



地域防災の先頭で活躍を！ 平成 25 年度 沼田消防演習

7月10日（水）、役場前駐車場において平成25年度の深川地区消防組合沼田消防演習が実施されました。

消防団員の士気高揚、地域住民の防火思想の普及向上を目的として演習を実施。開会式で金平町長は「地球温暖化の影響で災害は複雑で大きなものとなり、地域住民の防災への期待と関心が高まっている。消防団のみなさんには、地域防災の先頭に立ってご活躍していただきたい」と挨拶。

演習では、ポンプ車を使用したポンプ操法訓練、本通にある倉庫から火災が発生したという想定で行った模擬火災訓練、分列行進などを実施しました。消防団員の日頃の訓練の成果により、どの訓練でも団員らは均整のとれた素早い動きをみせており、会場に駆けつけた来賓者などから大きな拍手があがっていました。



優勝カップは誰の手に？ 第 12 回 沼田町長杯争奪パークゴルフ大会

7月11日（木）、雨竜川総合運動公園町民パークゴルフ場において、第12回目となる町長杯争奪パークゴルフ大会が、町と町教育委員会が主催、沼田町パークゴルフ協会（吉井昭一会長）が主管で開催されました。

この日は町内外から110名のパークゴルフ愛好家が沼田町に駆けつけました。開会式で金平町長は「昨年、大会中に具合が悪くなった方がいるようです。今日も天気が良くなるみたいなので、水分を摂りながらケガのないように頑張ってください」と挨拶。

参加者らはそれぞれのグループに分かれて競技を開始。パークゴルフ愛好家が集う大会とあって、ホールインワンを出す参加者も出るなど、随所にナイスショットが出る白熱した大会となりました。



第12回沼田町長杯争奪パークゴルフ大会結果

男子Aフライト

- ・1位 中野 宏秋（沼田町） 99 打
- ・2位 甚田 哲夫（留萌市） 101 打
- ・3位 佐伯 勝一（沼田町） 101 打

男子Bフライト

- ・1位 小坂 昌宣（芦別市） 113 打
- ・2位 下口光一郎（秩父別町） 113 打
- ・3位 浅野 栄（奈井江町） 113 打

女子Aフライト

- ・1位 大上 芳子（滝川市） 106 打
- ・2位 数村 泰子（沼田町） 110 打
- ・3位 橋本 隆子（旭川市） 111 打

女子Bフライト

- ・1位 木原 和枝（新十津川町） 118 打
- ・2位 上坂由紀子（苫前町） 118 打
- ・3位 向井レイ子（秩父別町） 118 打

※打数が同数の場合はカウントバック（メイプル方式）で順位を決定。

「社会を明るくする運動」 法務大臣からのメッセージを伝達



法務省が主導し、今年で第63回となる「“社会を明るくする運動”～犯罪や非行を防止し、立ち直りを支える地域のチカラ～」の推進にあたり、“社会を明るくする運動”中央推進委員会の委員長である谷垣禎一法務大臣から、運動の協力にあたってのメッセージの送達があり、7月12日（金）、深川地区保護司会沼田支部の木谷克巳支部長から金平町長へメッセージの伝達が行われました。

木谷支部長は「この社会を明るくする運動の活動にあたってご協力お願いします」と話しながら、文書を金平町長へ手渡していました。

沼田支部ではこの運動に合わせて、社会を明るくする運動を啓発する為の旗立てや、町民体育祭での啓発グッズの配布などの活動を実施しています。

景観保全で社会貢献 北央道路工業（株）が明日萌街道の草刈り



7月12日（金）、北央道路工業株式会社（澤口二郎代表取締役社長）が幌新地区の明日萌街道の草刈りボランティアを行いました。

北央道路工業は毎年ほろしん温泉ほたる館で開催されている「ほたる祭り」に合わせて明日萌街道の草刈りボランティアを実施しており、今年で6回目を数えます。

作業は3.8kmの道のりを作業員など10名ほどで行い、草刈り機を使用して見る見るうちに雑草が刈り取られていました。

沼田町子ども議会の開催に向けて… 小学4年生に町議会議員が事前授業を実施

沼田町の未来を担う子どもたちに、まちづくりについて考えてもらい、町政の参加を通して、子どもたちに町政と議会活動などに理解を深めてもらおうと、沼田町では初めてとなる「沼田町子ども議会」を今年の11月開催予定で準備を進めています。その事前準備の一環として、町議会議員8名が沼田小学校を訪れ、子ども議会の対象者である小学4年生に対して、7月17日（水）に事前授業を行いました。

議員らは、黒板にイラストを書いたり、教室に設置してある電子黒板を駆使するなど、児童らに伝わりやすい簡単な言葉を使い、「児童会に立候補できるのは4年生からって決まりがあるように、議員の選挙に立候補出来るのも25歳からって決まりがあるんだよ」と、例えを交えながら説明を行っていました。

議員らの説明が終わった後の質疑応答でも、児童から「傍聴ってなんですか？」「論議ってなんですか？」などの質問が多数飛び交っており、児童らも議会や議員に関心を持った様子でした。

今後、子ども議会の開催に向けて、9月定例会の見学会を実施する予定で、11月開催に向けて着々と準備が進められています。





雪ってすごいんだね！

小学3年生を対象に「利雪学習」

7月17日（水）、沼田小学校（藤森正男校長）の3年生児童を対象に、総合学習の時間を使って「利雪学習」が行われました。

この利雪学習は、小学校でも音楽室や多目的室で活用されている雪冷房の体験を通して、児童に沼田町の特徴や雪を意識するきっかけにしておうと、町の政策推進室、教育委員会、農業振興課が一体となって事業展開しています。

授業では、町農業振興課利雪技術開発センターの伊藤勲主任研究員が雪冷房の仕組みや町で雪を利用している施設についての説明を行いました。実際に児童らに音楽室の雪冷房の冷気体験や、簡易式雪冷房機を使って教室の冷房を行い、児童らは雪冷房機から出る冷気に触れると「つめたーい！ 気持ちいい！」と、雪冷房機に群がっていました。

利雪学習の最後には、児童らに「夏にこんなことに雪を利用できたら？」と思うことを絵に描くという夏休みの課題が出され、次回の利雪学習時に発表することとなりました。



子供たちから拍手喝采！

沼田小学校校舎完成記念自衛隊音楽隊演奏会



本年完成した沼田小学校の体育館で7月19日（金）自衛隊音楽隊演奏会が行われました。

演奏は、旭川を中心にご活躍されている陸上自衛隊第2音楽隊で、祝典行進局などのレパートリーが披露されました。

3曲目に演奏された「久石譲作品集」では、聞き覚えのある風の谷のナウシカなどが演奏され、児童はリズムをとりながら楽しそうに口ずさんでいました。

演奏が終わり児童会長の小野菜穂さんから「今日は素晴らしい演奏ありがとうございました。」と菅原信秀隊長に感謝の花束が贈られると、アンコールで沼田小学校校歌が演奏され客席から大きな拍手が湧きあがりました。

日々の生活で元気を維持！

共成老人クラブ健康・栄養教室

7月19日（金）、共成老人クラブ（小西義光会長）が、町の管理栄養士や保健師、健康運動指導士を招いて「健康・栄養教室」を開き、会員17名が参加しました。

始めに小松管理栄養士から、日頃の食生活を振り返ってのアンケートや、後で行われる調理実習の献立の説明が行われ、次に松野健康運動指導士から「転びにくい身体をつくる」ための、イスに座って出来る簡単な運動の指導が行われました。

運動教室が終わると調理実習が行われ、沼田産のトマトケチャップを使用した「鶏肉のケチャマヨ和え～沼田産ケチャップ仕立て～」を含む4品を調理。手際よく全ての料理が作られると参加者みんなで会食を行いました。参加者らは「初めて沼田産のケチャップを食べたけど、とても美味しい！」と、美味しそうに料理を口に運んでいました。



夏恒例の楽しいひと時！ 第 26 回和風園夏祭り



7月20日（土）、町養護老人ホーム和風園（橋英則園長）で第26回和風園夏祭りが開催され、施設利用者の家族や来賓など、約250名の来場者が訪れました。

この夏祭りは和風園では毎年恒例となっている行事で、施設職員はもちろんのこと、旭町町内会や隣にある町特別養護老人ホーム旭寿園の職員、役場青年女性部など多くのボランティアが運営に携わっています。

施設には、利用者が作成した書道や切り絵などの作品が展示されたほか、今年初めて利用者らで作成した「吊りあんどん」が飾られ、夏祭りに彩りを添えていました。

この日は晴天に恵まれ、集まった来場者たちは、焼き鳥やフランクフルトなどの屋台に行列を作り、利用者と一緒に食べながら笑い話に花を咲かせていました。

1市5町の老人クラブ会員が集結！ 北空知ブロック老人クラブリーダー研修会

7月24日（水）、町生涯学習総合センターゆめっくるにおいて、沼田町老人クラブ連合会主催、北海道老人クラブ連合会共催の「平成25年度北空知ブロック老人クラブリーダー研修会」が開催されました。

この研修会は、雨竜町を含めた1市5町が持ち回りで当番を決めて開催しており、本年は沼田町が当番で、ゆめっくるでの開催となりました。

研修会では、沼田町老人クラブ連合会の野道夫会長が「沼田町の自然環境について」の講話を行ったり、町保健福祉課の松野友迪健康運動指導士が「自分の体について知ろう」をテーマに、若い時と今では体がどのように変化したのか、これから夏に向けての水分補給の方法などの講演を行い、参加者約60名は興味深い様子で話に耳を傾けていました。



沼田町最高齢者が108歳の誕生日！ 旭寿園で畠山てるさん、108歳のお祝い！

町特別養護老人ホーム旭寿園（三浦剛園長）の利用者で、本町在住の方で最高年齢となる畠山てるさんが、7月20日（土）に108歳の誕生日を迎えられ、そのお誕生日会が24日（水）に旭寿園で開催されました。

畠山さんは三浦園長から「畠山さんお誕生日おめでとうございます」と声を掛けられ、花束や記念品などを受け取っていました。

畠山さんは明治38年7月20日生まれ。歌や絵が趣味で、畠山さんのお世話を担当している職員は「好き嫌いせずに何でもよく食べる。きっとそれが長生きの秘訣だと思う」と話していました。



ふれあい Infomation



本当は恐ろしい食中毒!?

食中毒は夏に多く発生し、原因は最近増えている「カンピロバクター」や「腸管出血性大腸菌 (O-157)」などです。これらは少量でも発症し、菌が付いた食品を食べると2日～7日くらいで、**吐き気や腹痛、下痢**などの症状が現れます。特に**子どもや高齢者**は、**重い症状**になりやすく、**死亡**することもあるため、**予防することが大切です!**



★食中毒予防の3原則★

つけない



増やさない



やっつける



石鹸を使って、しっかりとこまめに手を洗う!

買い物が終わったら、すぐに冷蔵庫へ!

食品の中心が75℃1分以上、しっかりと加熱する!

食中毒は、時に命にかかわるような重い症状となることもあります。食べ物が原因と思われる症状が現れたら、出来るだけ早く病院を受診してください。

【保健福祉課健康グループ 担当：吉田】

腰の痛みありませんか?

★腰スッキリのストレッチ★

を紹介します。

すべての運動は呼吸をしながらゆっくり行います。目安は10数えるくらいで、時間を見つけて行いましょう。腰に痛みがある場合は無理ないようにしましょう。



仰向けになり、おしりが少し浮くくらい両膝を抱え込みます。

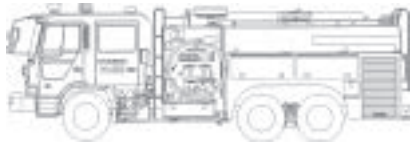


仰向けになり、右膝を左側にクロスします。できるだけ左膝が浮かないように、右肩が浮かないように心がけます。
*反対側もあります。



左足をかけ、右肘を左膝の外側につけ、左側へねじります。
*反対側もあります。

【保健福祉課健康グループ担当：松野】



消防報

深川地区消防組合
 深川消防署
 沼田支署予防担当
 TEL 35-2050

第20回「消防ちびっこ広場」開催のお知らせ

8月31日(土)の13:00から役場前駐車場にて第20回消防ちびっこ広場を開催します。(雨天の場合は、9月1日に順延)消防ちびっこ広場は、地震・火災や大雨などによる災害に対し、子供のころから防災に関心を持ってもらうことを目的としています。今年も、体験コーナーや無料縁日コーナーなどたくさんのアトラクションや、豪華景品(消防グッズ)を用意しておりますので、小さなお子様から大人まで多数の方のご来場をお待ちしております。また、沼田消防支署のレスキュー隊による救急救助実演も見どころです。

体験コーナー



放水体験



消防車・救急車乗車体験



消火・煙体験



AED体験



レンジャー体験

無料縁日コーナー

風船・かき氷・綿あめ・コーヒー・ヨーヨーつり・スーパーボールすくいなどを予定しています。

みなさまのご来場をお待ちしております!



『警報器 あなたの危険 知らせます』

大切な家族や財産を守るため、**住宅用火災警報器**を設置しましょう。



沼田警察署あんぜん広場 NumataPolice

TEL 35-3110



北海道警察官募集中です！

区分	受 験 資 格		採用予定人数
A区分	学 歴	学校教育法による大学（短期大学を除く）等を卒業した者 （平成26年3月卒業見込者を含む）	男性 70名 女性 10名
	年 齢	昭和56年4月2日から平成8年4月1日までに生まれた者	
B区分	学 歴	A区分以外の者（学校教育法による高等学校に在学中の者を除く）	男性 130名 女性 35名
	年 齢	昭和56年4月2日から平成8年4月1日までに生まれた者	

【申込要領等】

1. 受付期間

平成25年8月7日（水）から8月28日（水）まで。
電子申請の場合は8月23日（金）午後5時30分までです。

2. 試験申込先等

願書は、警察署に備え付けてあります。電話または来署してご相談ください。
電子申請の場合は、北海道警察のホームページをご確認ください。

☆第2回の採用は、高校卒業者の採用が多く予定されています。
あなたの力で犯罪のない北海道を実現しましょう！



災害に備えましょう！

～ 災害に備えて安心 我が家の防災 ～

毎年8月30日から9月5日は「防災週間」です。災害は、いつ、どこで、どのように起こるかわかりません。突然やってくる災害から身を守るため、普段から災害に対する備えをしっかりと持つことが大切です。

そのため、

- 家族が離ればなれになったときの集まる場所や連絡の方法
- 市町村が指定している避難場所
- 災害時に持ち出す家族の大切なもの

などを家族全員で確認しておきましょう。

災害が発生し、市町村長から避難の指示などがあった場合は、まず落ち着いて行動し、市町村職員や警察官の指示に従って避難しましょう。

車を運転中に大地震に遭ったときには、次のことを守ってください。

- あわてずに車を道路の左側に止めてください。
- ラジオ、テレビなどで地震情報、被害情報、道路情報などを確認して行動してください。
- 車はできるだけ道路以外の場所に移動して駐車してください。やむを得ず、道路に駐車したまま避難するときは、道路の左側に寄せ、エンジンを止め窓を閉め、エンジンキーを付けたままにし、ドアロックはしないでください。
- 通行止めなどの交通規制が行われているときは、現場の警察官、道路管理者の指示に従って行動してください。



もしもの災害に備えよう！！

生涯
学習

ゆめつくる



夏本番！ 大盛況の水泳教室！

夏本番を迎え、各種水泳教室が開催されています。

水泳教室は、中学生以上の大人を対象とした教室から、まだ水に顔がつけられない子供たちまで幅広い町民の方々を対象とした教室を行っております。指導者はアクアインストラクターの岩井俊直氏や松野友迪氏、深川市温水プール「ア・エール」より指導者を招き、参加者の目線に合わせた指導を丁寧に行っていました。



まだ水に慣れていない子どもたちの中には初めての水泳教室で、水を怖がる子もいたり、泣き出してしまいう子もいましたが指導者の熱い指導の甲斐もあり、水泳を楽しみながら、水に慣れていく様子がうかがえました。普段学校での水泳授業とは違う視点で指導が行われるため、子どもたちにとっては、良い刺激になったのではないかと思います。

○水泳がもたらす効果○

水泳がもたらす効果として、まず基礎体力の向上があげられます。水の抵抗や水圧が血液の循環や呼吸器官を活性化させ、芯の太い丈夫な体を作り上げます。そのため、子どもたちには成長期の丈夫なカラダづくりにとても重要な役割を担います。また、趣味の幅が広がったり、ストレス解消、精神面を鍛えるといった効果ももたれられます。

沼田町B&G海洋センタープールは8月31日（土）まで利用が可能（無料）なので、今回水泳教室にお申込みされなかった方も、ぜひ体力向上にプールを利用してみてはいかがでしょうか？

司書のイチオシ!

『太一×ケンタロウ★男子ごはんの本』



読んで楽しい。作って美味しい・めくって幸せになれます。料理番組『男子ごはん』の書籍化。

初版は2011年の本ですが、今回図書館に入れました。TOKIOの国分太一さんと料理家ケンタロウさんのおすすめや、レシピのポイント・四季のレシピが多数収録されています。二人のトークやスペシャル企画も掲載されていて楽しい料理本です。

ケンタロウさんは、「簡単で美味しく、洒落っ気があって現実的なもの」をモットーに「作る楽しさと食べる楽しさ」を大切にしています。男子ごはんとなっていますが、女性にもおすすめです。



**雪冷房で涼しい図書館を
ご利用ください。**

短い北海道の夏ですが、暑い日は、本や新聞・雑誌などを読みながら、図書館でぜひ涼んでください。

新刊図書

《一般書》

- 「93番目のキミ」 作者：山田 悠介
- 「大人の流儀3別れる力」 作者：伊集院 静
- 「夢幻花」 作者：東野 圭吾
- 「余命1年のスタリオン」 作者：石田 衣良
- 「自分を愛する力」 作者：乙武 洋匡
- 「桜ほうさら」 作者：宮部みゆき
- 「きみの町で」 作者：重松 清
- 「天職」 作者：秋元 康
- 「三匹のおっさん」 作者：有川 浩
- 「4コマちびまる子ちゃん 8巻9巻」 作者：さくらももこ

《児童書》

- 「ちっちゃなトラックレッドくん」 作者：みやにしたつや
- 「ハラヘッターとチョコリーナ」 作者：のぶみ
- 「くじらの赤ちゃん おおきなあれ」 作者：あべ 弘士
- 「仕事発見！生きることを働くことを考える」 毎日新聞社
- 「夏っ飛び！」 作者：横山 充男
- 「きょうのえほん」 作者：いもとうよこ

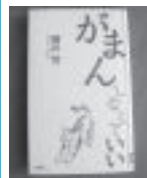
新刊図書おすすめ!!

『大泉エッセイ 僕の綴った16年』 大泉 洋



「水曜どうでしょう」への秘めた本音、ローカルタレントから全国区になった心情と自負…。大泉洋が1997年から2005年にかけて「じゃらん北海道発」など3誌に連載したエッセイをまとめて書き下ろしを加える。

『がまんしなくていい』 鎌田 實



同じ境遇にあっても、幸福感を感じる人と不幸のオーラを出している人がいる。その違いは体内ホルモンの分泌量。ホルモンの秘密を解き明かし、気持ちも体調も変わってくる生き方を紹介する。

『んふんふなめこ絵本 すてきなであい』

絵：トモコ=ガルシア



人気アプリ「おさわり探偵なめこ栽培キット」をもとにした絵本。栽培の様子や収穫されたなめこたちのその後を楽しく描く。パステルで描かれたカワイいなめこたちがせいぞろい!

広報めまた 第五七一号

みんなでなかよくお料理しました
沼田町食生活改善協議会 学童保育食育事業

“食”を通じての、地域社会に密着した健康づくりを進めている沼田町食生活改善協議会（池内幸枝会長）が主催する、学童保育食育事業が、7月25日（木）が沼田小学校調理室で行われました。

今回の事業では、事前に参加する児童に「おにぎりが一番好きな具は何？」「味噌汁の具で好きなものは？」というアンケートを実施し、その中で人気のあった具を使用するといったもので、具が発表されるたびに児童から歓声があがっていました。

調理する前に池内会長が「おばさん達の言うことを聞いて料理してください。そうするとおいしい料理ができますよ」とやさしい口調で語りかけていました。

調理は、子供達が6班に分かれて、おそろいのエプロンを着た11名の食改の会員が指導しながら進められ、「オリジナルおにぎり」「沼田産トマトケチャップをかけた厚焼きたまご」など5品を完成させ、皆で楽しく食べました。



二〇一三年八月八日発行 発行者 北海道雨竜郡沼田町長 金平嘉則
◆まちのどんな情報でも構いませんので、ぜひお聞かせください。編集 総務課広報情報グループ
亀谷・小川 電話〇二六四一三五一一

今月号の赤ちゃんです。すくすく育ってね！

川嶋 皐月くん (長男)
6月9日生まれ
お父さん 敬
お母さん 朋美



(市内1東)

岩井 昴月ちゃん (長女)
6月6日生まれ
お父さん 俊直
お母さん 郁恵



(仲町西)

おくやみ

氏名	月日	年齢	住所
中村 初子さん	7月15日	84歳	東 予
多田 トシさん	7月26日	86歳	北竜2

人の動き

人口 3,461人 (前月比 △7人)
(男性 1,639人 女性 1,822人)
65歳以上 1,311人 (高齢化率 37.9%)
世帯数 1,599戸 (前月比 △1戸)
○総人口増減内訳
増加…転入：3人 出生：1人
減少…転出：9人 死亡：2人
(平成25年7月31日現在)

交通事故死ゼロ

389日

継続中！

(平成25年8月1日現在)